

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 14 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02748 環境保全協働推進事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	001	環境保全協働推進事業			
事業期間	平成 8 年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	多くの市民が
目的	ごみ減量に関心を持ち、ごみ減量を協働で行えるようになります。
手段	市民、事業者、行政との協働によるごみ減量、資源循環型社会の推進を図るため、環境審議会を開催し、ごみ減量施策の調査、検討、構築を行うとともに市民活動を促進するため市民活動支援プログラムの運用、説明会等による啓発活動を実施します。ごみの再資源化を促進するため集団資源回収に対する報償金事業を実施します。
事務内容	ごみ減量推進委員会の設置、運用を行います。 住民説明会を開催し、周知をはかります。 集団資源回収報償金を支払います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		24,132	22,266	28,800
事業費	事業費	20,112	18,616	21,500
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	20,112	18,616	21,500
	人件費計	4,020	3,650	7,300
	正規（人）	0.60	0.50	1.00
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動支援、集団資源回収報償金の交付、ごみ減量推進委員会におけるごみ処理手数料改定の審議	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動支援、集団資源回収報償金の交付	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動支援、集団資源回収報償金の交付、環境審議会における一般廃棄物処理基本計画（案）の審議

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8年 8月12日
15時35分14秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02748 環境保全協働推進事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
住民説明会の参加人数	人	0.00 372.00	450.00 420.00	450.00 0.00
市民活動支援プログラムによる活動	回	0.00 27.00	20.00 29.00	20.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	他の事業主体が実施するものではありません。	
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	資源循環を目指し、団体による資源回収活動を支援します。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	住民説明会等は一定の要望があり、啓発することができています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	効率的な事業展開を図るよう検討しています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	きめ細かい対応を実施しています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	今後も市民の環境に対する意識を高められるように、これまでの啓発活動を見直すとともに、新たな啓発活動の検討・実施に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	002	ごみ減量化推進事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	啓発を受けた市民・子ども達が広く
目的	ごみ減量を始めたとした環境保全に対して関心をもつようになり、ごみ排出量が削減されます。
手段	環境学習をする小学 4 年生を対象に、施設見学とビデオによるごみ減量の必要性や環境教育のためのクリーンパス事業を実施するとともに、市民向けにはごみの発生抑制や分別の啓発、生ごみ処理機器の購入費用を補助し、ごみの減量と循環型社会への意識向上を図る環境保全啓発活動を実施します。
事務内容	市指定ごみ袋の発注製作と生ごみ処理機の購入補助を行います。 クリーンパス事業、広報などによるごみ減量及び環境教育、環境保全の啓発を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		125,335	94,625	145,247
事業費	事業費	117,295	84,405	136,487
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	99,189	68,772	112,545
	一般財源	18,106	15,633	23,942
	人件費計	8,040	10,220	8,760
	正規（人）	1.20	1.40	1.20
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	市指定ごみ袋の製作、 広報等によるごみ減量 啓発、生ごみ処理機器 の購入補助、市内小学 4 年生を対象としたク リーンパスの実施、ご み処理手数料改定の検 討	市指定ごみ袋の製作、 広報等によるごみ減量 啓発、生ごみ処理機器 の購入補助、市内小学 4 年生を対象としたク リーンパスの実施、ご み処理手数料改定及び 周知	市指定ごみ袋の製作、 広報等によるごみ減量 啓発、生ごみ処理機器 の購入補助、市内小学 4 年生を対象としたク リーンパスの実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 14 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
生ごみ処理機器設置補助	基	0.00 214.00	200.00 222.00	200.00 0.00
クリーンパスの実施	参加学校数	0.00 21.00	21.00 21.00	21.00 0.00
乾燥生ごみ交換重量	k g	0.00 3,788.00	4,000.00 3,982.00	4,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	他の事業主体が実施するものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市民のごみ減量に対する意識は維持されています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	概ね目標程度の実績となっています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	補助対象の拡充により生ごみ処理機器の購入数は増加しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	継続してごみ減量化の啓発を行っています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	ごみ減量化について、更なる市民協働の充実に努めるとともに、新たな事業展開を検討していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 14 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02750 地域環境美化事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	005	環境学習・環境行動			
事務事業	003	地域環境美化事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等	安城市ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	広く市民が
目的	地域環境の美化のため、自主的に清掃活動に参加するようになります。
手段	地域環境美化のため、アダプトプログラム制度の推進や地域クリーン推進員の養成を通じ、環境美化活動の啓発支援を行います。
事務内容	町内一斉清掃、アダプトプログラムの活動支援を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	8,445	8,640	9,468
事業費	4,425	4,260	5,088
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,425	4,260	5,088
人件費計	4,020	4,380	4,380
正規（人）	0.60	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 14 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02750 地域環境美化事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
アダプト団体登録数	団体数	0.00 76.00	76.00 80.00	80.00 0.00
「町を美しくする運動」活動実施数	回	0.00 90.00	100.00 99.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	他の事業主体が実施する者はありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	環境美化のための活動を各団体が積極的に行っています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	概ね目標程度の実績となっています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	効率的な事業展開を図るように検討しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	きめ細かい対応を実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	今後も地域における環境美化活動の啓発支援を実施するとともに、効率的な事業展開を検討していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02751 塵芥収集事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	003	塵芥収集事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを分別して出すことができるようになります。
手段	びん、缶、ペットボトル等の収集を直営業務とし、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック資源及び古紙古着の収集を委託業務としています。
事務内容	日常生活から出るごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ）を収集しています。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	738,395	777,524	819,179
事業費	578,265	595,024	635,949
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	6,210	5,093	5,068
一般財源	572,055	589,931	630,881
人件費計	160,130	182,500	183,230
正規（人）	23.90	25.00	25.10
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ26,784t、不燃ごみ722t、プラスチック資源1,453t、缶344t、びん1,147t、古紙・古着958tを収集しました。	可燃ごみ26,492t、不燃ごみ674t、プラスチック資源1,434t、缶335t、びん1,054t、古紙・古着943tを収集しました。	可燃ごみ25,947t、不燃ごみ672t、プラスチック資源1,417t、缶321t、びん1,033t、古紙・古着925tのごみステーション収集を実施します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8年 8月12日
15時35分36秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02751 塵芥収集事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
プラスチック資源の資源化率	%	0.00 96.82	95.00 97.76	95.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	法令に規定された市の責務を履行します。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	家庭ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由	目標を上回っているが、さらにごみの分別を啓発します。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	効率的な回収について検討しています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	先進的な取り組みを行い、利便性の向上に取り組んでいます。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	法令により一般廃棄物の処理責任は市に課されており、合理化と効率化を念頭に着実に事業を遂行します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 36 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02752 不法投棄対策事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	004	不法投棄対策事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	不法投棄された場所の近隣住民が
目的	不法投棄ごみのない快適な環境で生活できます。
手段	町内会への不法投棄防止用監視カメラの貸与事業、不法投棄パトロール業務及び不法投棄物の処分業務を実施します。
事務内容	監視カメラを設置して不法投棄の抑制を図るとともに、不法投棄され処理に困っている特定家電5品目、消火器及び自動車のタイヤ等を処理します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	10,002	9,910	12,481
事業費	7,322	6,990	8,831
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,040	1,271	1,040
一般財源	6,282	5,719	7,791
人件費計	2,680	2,920	3,650
正規（人）	0.40	0.40	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	監視カメラ18台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めました。	監視カメラ20台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めました。	監視カメラ22台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行います。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めます。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 36 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02752 不法投棄対策事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
家電 5 品目の不法投棄 台数（指定引取場所搬 入台数）	台	0.00 78.00	100.00 43.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補 完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	公共用地の管理責任に基づいて行います。	
2	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	良好な地域環境の維持と不法投棄抑止に寄与します。	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
	理由	抑止効果も認められますが、新たな不法投棄も発生しています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	町内会との連携強化に努めています。	
5	公平性	事業規模・サービス水 準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	不法投棄に対し、適正な措置を講じています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	一般廃棄物の処理責任は法令により市に課されており、合理化と効率化を念頭に着実に遂行します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	005	資源再生化事業（中間処理等事業）			
事業期間	平成 9 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	将来の市民が
目的	地球環境破壊や資源枯渇から救われる一助となります。
手段	ペットボトルは拠点回収し資源化センターにおいて、プラスチック資源はごみステーションで収集し安城プラスチックリサイクルセンター等で、それぞれ圧縮減容化処理します。これら中間処理したものは、資源リサイクル事業者により資源化しています。
事務内容	回収されたペットボトルやプラスチック資源の資源化を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	140,501	149,036	148,226
事業費	137,821	145,386	145,306
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	27,368	24,066	26,001
一般財源	110,453	121,320	119,305
人件費計	2,680	3,650	2,920
正規（人）	0.40	0.50	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	ペットボトル450t、プラスチック資源1,453tを収集し、再生処理をしました。	ペットボトル451t、プラスチック資源1,434tを収集し、再生処理をしました。	ペットボトル448t、プラスチック資源1,417tを収集し、再生処理をします。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 36 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
ペットボトルの選別処理量	t	0.00 450.00	454.00 451.00	448.00 0.00
プラスチック資源の圧縮梱包処理量	t	0.00 1,453.00	1,493.00 1,434.00	1,417.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	法令に規定された市の責務を履行します。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	他のごみは減少傾向の中、処理量はほぼ横ばいです。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	資源の売却先など、経済性と適正処分の確保を目指しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他自治体との情報交換に努め、適正水準を確保しています。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	プラスチック資源の一括回収などにより資源ごみのリサイクルを推進しており、持続可能な循環型社会の構築に引き続き貢献できると考えています。今後も市民の協力が得られるよう、積極的に周知し、利便性を向上させる必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係

事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	006	リサイクルプラザ施設管理事業			
事業期間	平成10年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを適正に排出することができます。
手段	不燃ごみ、粗大ごみの破碎処理を行うとともに、資源物を抽出し再生、再利用を図り資源循環型社会形成に寄与します。
事務内容	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	531,985	568,727	499,634
事業費	515,235	550,477	481,384
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	104,966	75,922	87,819
一般財源	410,269	474,555	393,565
人件費計	16,750	18,250	18,250
正規（人）	2.50	2.50	2.50
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	不燃粗大ごみ3,200t びん・缶1,491tを破碎・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,191t びん・缶1,388tを破碎・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,192t びん・缶1,354tを破碎・減容、分別し中間処理を行います。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 36 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由 必要性 市民ニーズの有無	法令に規定された市の責務を履行します。 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由 有効性 目標に対する進捗状況	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由 効率性 事業の効率化・事業費の削減	事後対応の必要な苦情はありませんでした。 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由 公平性 事業規模・サービス水準	合理性、経済性に留意しつつ、施設の維持管理に努めています。 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	ごみの搬入量に対して、処理能力の不足は認められません。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	持続可能な循環型社会の構築には、ごみ減量化、資源再生の取組は欠かせないものであり、リサイクルプラザの役割は重要であると認識しています。ただし、経済性や効率性、省エネルギー化や安定処理の観点も踏まえて、施設の維持管理を図る必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	007	せん定枝リサイクルプラント事業			
事業期間	平成13年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	農業経営を行う市民や園芸を楽しむ市民が
目的	たい肥を利用した農業・園芸を行うことができるようになります。
手段	市民が搬入したせん定枝を粉碎し、醗酵たい肥化を行います。
事務内容	せん定した枝葉をごみとして焼却するのではなく、自然還元による資源循環のためにたい肥を製造して市民等に配布します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	80,216	74,154	89,294
事業費	64,136	56,634	71,044
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	11,460	8,206	18,700
一般財源	52,676	48,428	52,344
人件費計	16,080	17,520	18,250
正規（人）	2.40	2.40	2.50
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	せん定枝1,083tを処理、たい肥723tを配布しました。	せん定枝992tを処理、たい肥794tを配布しました。	せん定枝872tを処理、たい肥706tを配布します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
剪定枝葉処理量	t	0.00 1,083.00	1,171.00 992.00	872.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		2
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	市内外の民間事業者へ処理委託する手法もあります。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	製造したたい肥は全量が配布できています。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		2
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由	せん定枝処理量、たい肥配布量ともに減少しました。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	合理性、経済性に配慮しつつ、適正な維持管理に努めています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	周辺自治体では取り組みの少ない事業です。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	バイオマス技術を活用した資源化は、持続可能な循環型社会の構築に寄与していますが、事業の実施にあたっては経済性、効率性、省エネルギー化の観点との整合を図る必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係

事務事業 02756 最終処分場事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	008	最終処分場事業			
事業期間	平成21年度 ~ 令和31年度	41	年間		
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	安城市が
目的	リサイクルプラザ等における中間処理で排出した再利用・再資源化が困難なごみを埋立処分します。
手段	市内唯一の埋立最終処分場として、埋立量の極小化に留意しつつ、破碎した不燃残渣のみを埋立しています。
事務内容	リサイクルプラザから出る処分できない埋立ごみ（不燃残渣）の処分場です。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		96,197	74,754	134,989
事業費	事業費	90,837	68,914	129,149
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	90,837	68,914	129,149
	人件費計	5,360	5,840	5,840
	正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	搬入量424t（容量換算530m ³ ）の不燃残さを埋立処分しました。	搬入量503t（容量換算575m ³ ）の不燃残さを埋立処分しました。	搬入見込み量481t（容量換算601m ³ ）の不燃残さを埋立処分します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02756 最終処分場事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
最終処分場埋立量	t	0.00 424.00	486.00 503.00	481.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
2	理由	市域を越えて最終処分場を確保することは極めて困難です。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	一般家庭の排出ごみを処分するために必要不可欠です。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	再資源化の促進により、埋立量の抑制が図られています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	最終処分場の新設は困難であるため、長期供用に努めます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	当面必要となる最終処分場の安定運用に努めています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	新たな最終処分場の設置は困難であるため、今後も再資源化を促進しつつ、埋立量の抑制による延命化を図り、長期間の供用が可能となるよう努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02757 資源リサイクル事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	009	資源リサイクル事業			
事業期間	平成14年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	広く市民が
目的	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになります。
手段	市内 5 箇所のリサイクルステーションを設置し、運営をシルバー人材センターに業務委託を行い、市民の利便性に配慮し、資源ごみの分別促進を図ります。
事務内容	ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置、運営を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		45,125	46,693	47,707
事業費		37,755	40,853	43,327
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	12,359	5,238	9,960
	一般財源	25,396	35,615	33,367
人件費計		7,370	5,840	4,380
	正規（人）	1.10	0.80	0.60
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	リサイクルステーション資源回収量2,359t、古紙・古着資源ステーション収集量958tをリサイクルしました。	リサイクルステーション資源回収量2,272t、古紙・古着資源ステーション収集量943tをリサイクルしました。	リサイクルステーション資源回収量2,977t、古紙・古着資源ステーション収集量925tをリサイクルします。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02757 資源リサイクル事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
リサイクルステーションの回収量	t	0.00 2,359.00	2,376.00 2,272.00	2,977.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市民主体の資源循環の取組を可視化できます。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		資源を簡便に排出でき、利用日の制約がほとんどありません。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		新聞発行数の減少や書籍の電子化で、古紙搬入量は減少傾向です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		利用促進のため、利便性の向上や周知に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		近隣市と比較し、利便性は十分に確保できています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	これまでの取組により、市民のリサイクルに対する意識が向上し、循環型社会の形成に寄与しています。市民のニーズを把握し、引き続き更なる利便性の向上を図ります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業 電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	010	ごみ焼却施設管理事業			
事業期間	平成 9 年度 ~ 令和 8 年度	30	年間		
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	可燃ごみを安心して排出できることを目的とします。
手段	ごみ焼却施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や計画的な工事を実施することで施設の健全性を維持します。
事務内容	収集などにより搬入された可燃ごみを適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	1,213,204	1,011,626	216,493
事業費	1,188,414	984,616	210,653
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	114,242	149,317	210,653
一般財源	1,074,172	835,299	0
人件費計	24,790	27,010	5,840
正規（人）	3.70	3.70	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ49,671tを焼却処理しました。	可燃ごみ48,913を焼却処理しました。	可燃ごみ予定量50,252tを焼却処理します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 55 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
施設の故障による可燃ごみ搬入停止	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
法規制値を超える排気ガスの排出	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	ごみ処理施設は、市民生活に必要な事業です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由	施設の故障や基準値を上回る排出もなく順調に稼働しています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	施設管理を委託し、整備計画などを随時見直しを図っています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	他自治体を参考に適切な時期に施設整備を行っていきます。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	今後も適切な保守管理及び計画的な工事を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 8年 8月12日
15時35分55秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	011	ごみ焼却灰処分事業			
事業期間	平成 9年度 ~ 令和 8年度	30	年間		
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から名称変更しています。				
	・ごみ焼却灰溶融化事業				

【事業分析】

対象	市が
目的	処分先の環境を阻害することなく、安定的に焼却灰を処理できるようにすることを目的とします。
手段	本市は、焼却灰の最終処分場を所有していないことから、発生した焼却灰全てを市外に運搬・処分しています。 処分先としましては、公益財団法人愛知臨海環境整備センター（アセック）や民間の最終処分事業者です。また、焼却灰の一部については再資源化処理としています。
事務内容	処分場を所管している相手方自治体と調和の協議を行い、安全かつ適正に処理を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		212,545	211,677	194,058
事業費		209,195	208,027	189,678
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	209,195	208,027	189,678
人件費計		3,350	3,650	4,380
	正規（人）	0.50	0.50	0.60
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	実績量 ・埋立量 4,032 t ・再資源化量 2,413 t	実績量 ・埋立量 3,798 t ・再資源化量 2,392 t	予定量 ・埋立量 4,285 t ・再資源化量 2,315 t

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 55 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
焼却灰の処分先	箇所	0.00	7.00	7.00
		7.00	7.00	0.00
焼却灰の資源化率	%	0.00	35.29	35.08
		37.44	38.60	0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	焼却後に発生する焼却灰は適正に処分する必要があります。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	焼却灰の処分場を持たない自治体の市民にとっては必要な事業です				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由	適正に処分を行い、リサイクル率の向上に努めています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	リスク分散などの観点から各地に処分場の確保を行っています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	独自の埋立処分場を持たない近隣市と同等の水準です。				

【 1 次評価結果 】	
事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	災害時のリスク分散を考えた場合や現在委託する処分先も有限施設であるため、今後も処分先を検討する必要があります。また、環境負荷低減のための再資源化についても引き続き検討していきます。

【 2 次評価結果 】	
事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業 電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画次数	03 第 9 次安城市総合計画				
重点戦略	003 ばしょ				
分野別	005 1 6 環境				
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量				
事務事業	012 し尿処理施設管理事業				
事業期間	昭和63年度 ~ 令和 8年度	39 年間			
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	し尿汚泥、浄化槽汚泥を安心して排出できることを目的とします。
手段	し尿処理施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や施設整備を実施することで、施設の健全性を維持します。
事務内容	収集搬入された生し尿や浄化槽汚泥等を適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	208,543	151,134	77,714
事業費	202,513	144,564	71,144
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	202,513	144,564	71,144
人件費計	6,030	6,570	6,570
正規（人）	0.90	0.90	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	生し尿1,399KL、浄化槽汚泥27,700KL、農業集落排水汚泥806KLを処理しました。	生し尿1,250KL、浄化槽汚泥27,034KL、農業集落排水汚泥804KLを処理しました。	生し尿1,199KL、浄化槽汚泥28,162KL、農業集落排水汚泥842KLを処理します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 56 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
施設の故障によるし尿・浄化槽汚泥搬入停止	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
法条例規制値を超える放流水の排出	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	し尿処理は、市民生活に必要な事業です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	施設の故障や基準値を上回る放流もなく順調に稼働しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	施設管理を委託し、整備計画などの随時見直しを図っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	近隣市と比較しても同水準です。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	今後も適切な保守点検や施設整備を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 03580 あんしんふれあい収集事業 電話番号

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	002	生活環境保全			
事務事業	003	あんしんふれあい収集事業			
事業期間	令和 7年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが難しい要介護 1 以上のみの世帯が
目的	日常のごみ出しを可能にすることを目的とします。
手段	自宅の敷地内や玄関先に出された家庭ごみを、市職員が直接訪問し収集する。
事務内容	週 1 回、家庭ごみの収集をするとともに、声掛けのなどの安否確認を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		0	7,625	8,662
事業費	事業費	0	1,055	2,092
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	1,055	2,092
	人件費計	0	6,570	6,570
	正規（人）	0.00	0.90	0.90
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】		事業を行う地域を 7 町に限定し、実証事業を行いました。	事業を行う地域を全市に拡大します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 35 分 56 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係
事務事業 03580 あんしんふれあい収集事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
あんしんふれあい収集 を利用する世帯数	世帯	0.00 0.00	20.00 8.00	50.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	一般廃棄物収集は、市で行う事業です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	ごみ出しが困難な世帯は存在しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	実証事業として選定した地域の特性を予測できていませんでした。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	事業対象地域だけでなく、事業対象者の検討を随時図っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	同様の事業を実施している近隣市と比較し同水準以上です。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	ケアマネジャーなどの意見聴取を実施することで、対象世帯の拡大や事業内容をブラッシュアップすることで、 ごみ出しに困っている世帯に対する支援に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 36 分 13 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282420 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設整備係
事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業 電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量			
事務事業	013	廃棄物処理施設整備事業			
事業期間	平成31年度～令和13年度	13	年間		
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 3 1 年度より事務事業名を以下のとおり変更しています。 ・（旧称）ごみ焼却施設等整備事業 ・（改名）廃棄物処理施設整備事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	将来的に安心して廃棄物を排出できるよう施設の整備を行うことを目的とします。
手段	老朽化する廃棄物処理施設を安定的に移働できるよう施設整備を進めます。
事務内容	施設整備に必要な各種計画の策定及び施設整備を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		54,288	330,257	735,525
事業費		34,188	308,357	720,925
	国庫支出金	4,062	3,301	8,056
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	550,000
	一般財源	30,126	305,056	162,869
人件費計		20,100	21,900	14,600
	正規（人）	3.00	3.00	2.00
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	長期包括契約による基幹的設備改良工事に向けた施設整備基本計画及び長寿命化総合計画を策定しました。 P P P 事業審議会を開催し、ごみ焼却施設等の D B O 方式による請負業者の選定業務を進めました。	P P P 事業審議会を開催し、D B O 方式によるごみ焼却施設基幹的設備改良工事・管理運営委託事業の設計施工監理及びモニタリング業務を実施します。	

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 36 分 13 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001282420 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設整備係
事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事発注支援事業（進捗率）	%	0.00 46.11	42.59 42.59	0.00 0.00
ごみ焼却施設生活環境影響調査（進捗率）	%	0.00 57.12	38.84 38.84	0.00 0.00
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事設計・施工監理業務（進捗率）	%	0.00 0.00	0.00 0.00	19.68 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		一般廃棄物の処理は自治体の責務において行う必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		一般廃棄物の処理は市民にとって必須の生活インフラです。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		目標どおりの進捗となっています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		施設の安定稼働のため効果的な発注をしました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		廃棄物処理施設整備・運営事業はDBO方式が広く用いられます。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	令和 8 年度は安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事及び管理運営委託事業を実施します。 。基幹的設備改良工事の適正な進捗管理、安定した管理運営体制の構築に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。